



はだしのころ

生きる営みの中から真っ直ぐに
生まれてきたアート、
すなわち「はだしのころ」を持ったアートには、
ひとのこころを揺さぶり、つなげ、
社会を変えていくちからがあります。
秋田での暮らしの中から生まれた
「はだしのころ」を持つアート・表現を、
障がいのある人、ない人、すべての人で
分かち合う場として、本展覧会を開催します。

題字：工藤孟彦

魂のカケラ

公募展
絵や写真はもちろん、布やチラシの裏、落書き帳に書いたずら書きや、
何かわからないようなものまで、こころが自然に溢れでたような、
魂のカケラの作品を展示します。

日時：10月27日(木) - 31日(月) 10:00-20:00 ※最終日は13:00まで
会場：秋田市文化創造館 コミュニティスペース

「はだしばと募集」

はだしのころ2022では写真や映像を撮ったり、ステキな言葉で展覧会の
感想を書いてくれる街のはだしばとを募集しています。
お問い合わせ：hadashikokoro@gmail.com 【お申し込み】はコチラから→



✂ カットすると小さな封筒が作れます。

生かされ思う

わたしたちは生きている、けれど、生かされている。我が子に、表現することに、
受け入れられ、受け止めることに、生きつ、生かされ、惑い思う。
あなたはなにに生かされていますか？

会場：秋田市文化創造館 コミュニティスペース/屋外エリア

●上映会

「Reborn - 再生を描く -」

脳損傷をきっかけに絵の才能が開花し戸惑うディジュリドゥ奏者・画家GOMAの再生の日々を描くETVドキュメンタリー「Reborn-再生を描く-」をはだしのころ2022にて上映します。

日時：10月27日(木) 19:00-20:00
10月28日(金) 19:00-20:00

◎10月29日(土) 要予約(下記を参照)

10月30日(日) 17:00-18:00
定員：各40名(27・28・30日は当日先着順)

◎上映会 + トーク + ミニライブ

2009年に交通事故により高次脳機能障害を負い、自らを「新人類」と呼ぶGOMAさん。後天性の障がいと向き合いながら生かされ、思う事とは？

日時：10月29日(土)
上映会……………17:00-18:00
トーク・ミニライブ……18:30-20:00

定員：40名(要予約)
話し手：GOMA(ディジュリドゥアーティスト・画家)
聞き手：圓井智哉(OVO/nost)



【29日予約お申し込み方法】
こちらのQRコードから
お申し込みください。
※定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ：hadashikokoro@gmail.com



GOMA プロフィール

オーストラリア先住民アボリジナルの伝統楽器「ディジュリドゥ」アーティスト、画家。2009年交通事故に遭い外傷性脳損傷による高次脳機能障害と診断され活動を休止。事故後、突然緻密な点描画を描き始める。2012年GOMAを主人公とする映画「フラッシュバックメモリーズ3D」が東京国際映画祭にて観客賞を受賞。フジロックフェスencl国内外多数のフェスに出演。2019年詩人の谷川俊太郎との共著、自身初の画集「Monad」出版。2021年パラリンピック開会式ひかまるトラックの入場曲とトラックの声を担当。2022年舞台「肅々と運針」の音楽監督と劇中のアートを手掛ける。
Website <https://gomaweb.net>

✂ カットすると小さな封筒が作れます。

●トークイベント

「生かされ思う」

■ユニークなイラストを描くあっちゃんのお母さんであり、アートリンクうちのあかりスタッフでもある戸嶋祐子さんに、あっちゃんとの暮らしのこと、ご自身のことなどを伺います。

日時：10月28日(金) 18:00-18:30
定員：40名(当日先着順)

話し手：戸嶋祐子(NPO法人アートリンク
うちのあかりスタッフ)
聞き手：圓井智哉(OVO/nost)



■自身の神経症や大切な人たちの社会不適応不登校などを通してまともであること、しらふでいることを考えながら能代市で美術ワークショップを主催する富樫さん。描くという原始的行為に生かされ続けてそこで何を見出すか…

日時：10月30日(日) 18:30-19:00
定員：40名(当日先着順)

話し手：富樫知里(坊ヶ崎美術研究室)
聞き手：安藤郁子(NPO法人アートリンクうちのあかり代表)

富樫知里 プロフィール

東京都出身。多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。2009年から秋田県能代市在住。最近の主な活動は平面作品制作、展示、シャッターアートやワークショップ主催など。



●蠟燭

「命の灯火」 近藤文陽×椿キャンドル

日時：10月28日(金) 18:00-20:00
10月29日(土) 18:00-20:00

✂ カットすると小さな封筒が作れます。

あきたアート はだしのころ 2022 プレイベント

はだしのどうぶつ

2022.10.8(土) - 10(月・祝) 観覧無料

11:00-17:00 ※最終日は15:00まで

空の森研究所(秋田市金足追分海老穴46-1)

空の森に足を踏み入れれば、「じぶん」というどうぶつになり、いつのまにか心がはだしになって行く。みな同じ森にいる「はだしのどうぶつ」動物・植物・昆虫などいきものをテーマにした作品を空の森研究所に展示します。

●アクセス

電車：追分駅から徒歩25分

バス：約5分(五城目線「追分駅入口」→「牛坂」下車)

駐車場：

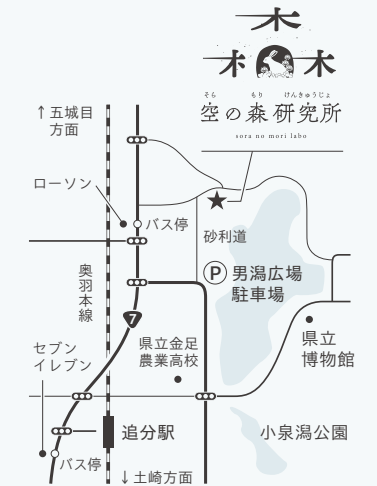
【空の森研究所(7台)】障がいのある方、優先でのご利用をお願いします。※駐車スペースが少ないため、乗り合いでご来場頂く事をお勧めします。

【近隣駐車場】会場から徒歩5分の男湯広場駐車場をご利用ください。※近隣施設や近隣住宅様への無断駐車は皆様の迷惑になりますのでお控えください。



空の森研究所

2021年11月、身近にある豊かさにフォーカスをあてて追求する人々の様々な声聞き「やりたかったけれど出来なかった事を形にする場所」として空の森研究所をスタートさせる。肩に力を入らない、リラックスした中で気軽に触れられる上質なカルチャーの提供を目指し、日々研究中。



あきたアート はだしのころ 2022

2022.10.27(木) - 31(月) 観覧無料

10:00-20:00 ※最終日は13:00まで

秋田市文化創造館 コミュニティスペース

秋田市千秋明徳町3-16(秋田駅西口から徒歩約10分)

主催：秋田市 後援：秋田県、秋田県教育委員会、秋田公立美術大学、秋田市教育委員会(予定)
企画・運営：NPO法人アートリンクうちのあかり

お問い合わせ先：

アートリンクうちのあかり「あきたアート事務局」(担当：安藤/大畑)

〒010-1636 秋田市新屋比内町11-16 TEL: 018-838-4711 ※電話に出られない場合もございます。

E-mail: hadashikokoro@gmail.com はだしのころウェブサイト <https://hadashi-no-kokoro.com>

【お願い】ご来場の際はマスクの着用をお願いします。また、発熱、咳などの症状がある方、体調のすぐれない方のご来場はご遠慮ください。

会場の様子をSNSで紹介しています！



✂ カットすると小さな封筒が作れます。